

小学校プログラミング教育実施レポート

学習活動名	社会「くらしを支える工業生産」
学年	小学校第5学年
目標	プログラミング的思考を活用し、どこの工業地域・工業地帯なのかをあてるクイズを作成する活動を通して、それぞれの工業地域・工業地帯の特色をとらえることができる。
教材タイプ	C Sアンプラグド
使用教材	教科書、資料集
環境	掲示用シート、ワークシート（1人1枚）
都道府県	鳥取県
実施校	鳥取市立宮ノ下小学校
学習活動の概要・ 児童の様子	<p>1 本時の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9つの工業地域・工業地帯から4つ選んで、条件分岐クイズを作ろう。 <p>2 学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 例をもとに、条件分岐の考え方とクイズ作成の見通しをもつ。 ・ 資料集をもとにクイズを作る。(個人) ・ クイズを出し合いながら、問題が適切かどうかを確認し、グループ内で発表用のクイズを1つ選ぶ。(グループ) ・ 発表。(全体) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><児童の様子></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 困ったときには、先生から「ヒントカード」でクイズを出すときの視点ももらい、自分なりのクイズを考えることができた。 ・ それぞれのグループが納得のいくクイズを作成することができ、全員が発表を希望する等、意欲的・自主的に取り組む姿が見られた。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習を振り返る。(全体)
成果と課題	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の進め方の説明を適切に行うことで、児童が見通しをもちながら9つの工業地域・工業地帯の資料に書かれている情報と向き合ってクイズを作成することができた。 ・ 単元末の学習で復習や確認、理解を深めるための授業であり、例えば「太平洋ベルト」のような言葉の意味を確認するため有効な時間であった。 ・ 児童は、プログラミング的思考の一つである「条件分岐」の考え方を理解することができ、様々な場面で「条件分岐」の考え方が生かせることに気付くことができた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クイズで活用するための情報源や根拠としてよい情報について、児童にどのように示すのかの検討が必要である。 ・ 今後はコンピュータを用いたプログラミング教育にも取り組んでいく。

